



第48号

発行
山辺地区社会福祉協議会
事務局
山辺公民館内
TEL 0284(71)0516

- すなおな心 (はい)
- 反省の心 (すみません)
- 謙虚な心 (おかげさま)
- 奉仕の心 (私がします)
- 感謝の心 (ありがとう)
- 山辺地区日常五心



早川県議より祝辞を頂く

長期役員退任者表彰では理事

ことができた。

総会が、県市議始め多くのご来賓の臨席を賜り、百名を超える多数の方々が出席され開かれた。会長挨拶(次頁)後の来賓祝辞では、早川県議から超高齢社会と防災の観点から、地域の助け合いの重要性を、栗原市議からは日本創生会議の予測からの地域活性の大切さを、市社協代表の近藤課長からは、TV番組を引用して社協活動の多様性と献身性を紹介し強力な支援を惜しまないとお話を頂く。そして来賓紹介ではご来賓全員の方々に一言ずつ激励の言葉を頂くことができた。

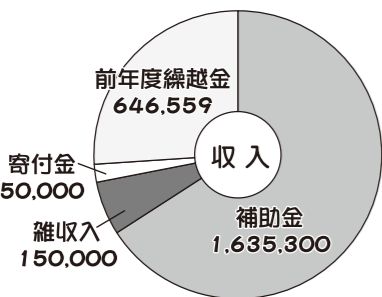
26年度会総

地域福祉へ貢献、活動計画を承認

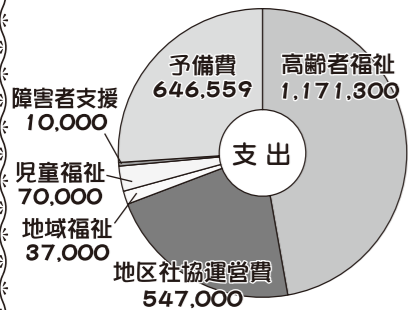
5月18日、公民館別館ホールにて今年度の総会が、県市議始め多くのご来賓の臨席を賜り、百名を超える多数の方々が出席され開かれた。会長挨拶(次頁)後の来賓祝辞では、早川県議から超高齢社会と防災の観点から、地域の助け合いの重要性を、栗原市議からは日本創生会議の予測からの地域活性の大切さを、市社協代表の近藤課長からは、TV番組を引用して社協活動の多様性と献身性を紹介し強力な支援を惜しまないとお話を頂く。そして来賓紹介ではご来賓全員の方々に一言ずつ激励の言葉を頂くことができた。

予算グラフ

収入内訳 総額2,481,859円



支出内訳 総額2,481,859円



今年度の主な事業

- ◆高齢者福祉
 - 独居老人給食サービス
 - 友愛訪問・特別会食会
 - 老連支援・講演会開催
 - いきいきサロン支援
 - 安心キット普及
- ◆障害者福祉
 - 体験研修又は訪問交流等
- ◆児童福祉
 - 福祉教育支援
- ◆地域福祉
 - 子育てサロン運営
 - ふれあいハイキング
 - 福祉ボランティア育成
 - 山辺文化祭模擬店事業
- ◆地区社協運営
 - 地区外研修ツアー
 - 広報紙発行・総会・理事会・支部活動支援

紹介パネル展示会を開催

障がい者支援事業として本年はその自立支援に尽力されている施設を知って頂く為のパネル展示会を初めて企画実施した。人は実に多様な側面を有してこの地域で様々な影響があつて生活している。時に勝ち組と言われる人が見せる地域での卑しい人間性があったり逆に弱いと思われた人の優しさや包容力が、多くの人の感動と協働の原動力を生み出したりしている。人は一人ではまともに生きてはいけない。地域の中で交流し、お互いが支えあえる良き個性を持っていることが良い人生の源ではないだろうか。

障がいもその個性の一つと理解され、支えあえる地域にしていくなは、知らない部分を少しでも知っていくことがスタートと、市障害福祉担当小宮主幹の紹介で、自立支援協議会及びハートショップ足利小池事務局長のお骨折りを得て本パネル展示会を3月17日の1日間、公民館ホールにて開催できた。

出展頂けた施設は次の6施設。(福足利むつみ会・社就労きた

障がい者自立支援施設の紹介

ざとG、(医)恵愛会青木病院G、(医)孝栄会前沢病院G、(福)善隣学園・ルンビニ園、(福)ブローニユの森・はろつじよぶ、足利障がい者相談支援センター。



りおちゃんとママです

4月のサロンに3月に生まれたばかりのりおちゃんが、2歳半の姉るみちゃんと一緒にママ古田悠子さんに抱かれて参加皆さんハラハラドキドキしながらも大歓迎。5月には1ヶ月間の成長に又歓声が上がります。この時は2月生まれのりくと君がママ鈴木愛美さんと参加して、赤ちゃんコンビに皆ニコニコのサロンとなった。健やかな成長を願っている。



わたしたちがアイドル赤ちゃんです

郷土山辺の今昔物語 第二回 東武鉄道の開通と中橋

田中町 田部井 健二

明治40年、東武鉄道が足利迄開通した。駅は線路の南側、山辺村大字田中の地に「足利町駅」として開設した。地形的関係で北側に設置できなかったと思われる。

明治42年、東武鉄道は男浅間と女浅間の間の切通し工事を行い、線路を太田町迄延ばした。この年、線路の南側にあった駅舎を線路の北側に移築した。尚、大正10年、市制施行により「足利町駅」から「足利市駅」に名称変更となった。

ここに驚くべきデータがある。大正3年の東武鉄道営業報告によると、足利町駅の客車収



舟の上に板を張っただけの初代中橋 (ふるさとの思い出足利誌より)

入は、東武全駅中浅草駅に次ぐ第2位、貨車収入については第8位、総合3位の実績を示している。これだけ高い東武鉄道利用頻度は、中橋の整備と無関係ではないようだ。

大正初年、通り3丁目と足利市駅を結ぶ舟橋が完成した。東武鉄道が利用者の便を図るため、全額私費を投じて設けたものである。しかし舟橋は増水・氾濫等による被害が大きく、永久橋架設の要望が高まった。

昭和11年、念願叶って市街地と足利市駅が直結する永久橋が完成した。総工費35万円(内東武鉄道10万円、足利市5万円)であった。これにより東武鉄道を利用する人と物が飛躍的に増大した。



県議事堂の赤絨毯の階段上にて

例年秋に行っていた地区外研修を25年度は年明けの2月20日に38名の参加で実施。直前の大雪の被害で当初予定の製紙工場が受入不可となり、早川県議のお骨折りで急遽訪問先を県庁に切り替え実施できた。

防災館と県庁を訪問

地区外研修で



昼食は宇都宮餃子館インテアにて頂き、県庁へ。

普段は中々訪れることがない県議会議事堂と議場、本館8Fの危機管理センター、15Fの展望ロビー等県政の中枢を見学。更に前庭東側にある昭和館へ。

ここは平成15年までの65年間に亘って使用された旧県庁建物で文化的価値から昭和のシンボルとして保存されたもの。

県庁へは初めてという方も多く、その距離を少しは縮められる方向になったものと思う。

NHKスペシャル

アルツハイマー病を

くいとめる

近頃物忘れが多く、認知症ではないかと心配される方が自分を高め多くなつたように感じるだけに、この番組には大いに勇気付けられた。

「あきつめない」希望が湧いてくるものだけに是非地区の皆さんに視聴頂きたく、DVD映写会を3月17日10時より公民館ホールにて開催した。

地区住民同士のふれあいを

総会時の挨拶・山辺地区社協会長 稲垣 柳一郎

爽やかな好天に恵まれ、皆様何かとお忙しい中、当社協総会に大勢ご参加頂き大変ありがとうございます。

さて日本の高齢化率の増大は世界に類を見ない速度で進んでおり、加えて核家族化の進展で高齢者のみの世帯や独居高齢者世帯が増えております。全住民が安心して暮らしていける対応にはこの地域でも苦慮している現実がありますが、当山辺地区社協では独居老人給食サービスやいきいきサロン開催を推進して高齢者と地域住民がふれあい、つながりを持つ事で、地域での見守りの推進につながる活動を行っています。



挨拶する稲垣会長



表彰風景

また世代間交流を目的としたふれあいハイキング、障がいを持つ方とのスポーツ交流や体験研修等地域住民同士の結びつきをより強くするような事業を展開してきており、相応の評価も頂けてきておりますが、それらは偏りに、企画立案に努力してくれる関係者、そして参加・実行してくれている皆様方の努力の賜物と改めて御礼申し上げます。

地区社協が目指す福祉の向上とは安心して地域で生活ができることを意味しており、実に複雑で多様性を持っています。それ故に当社協には多くの地区内団体の代表者や奉仕心に富むボランティアの皆さんが集まってくれております。今後とも皆さんの力強いご支援とご協力を頂いて、当社協の活動が継続できますよう、宜しくお願い申し上げます。

総会ご臨席のご来賓

県議会議員	早川 尚秀様
市議会議員	塩田 等様
同	小林 克之様
同	栗原 収様
同	吉田 晴信様
市社協総務施設課長	近藤 康彦様
山辺小学校長	川島 初夫様
南小学校長	菅俣 輝雄様
山辺中学校長	菊地 廣光様
みなみ保育所長	岡田 町子様
八幡こども館長	小堀 充子様
山辺公民館長	小野 秀典様
両毛新聞社	菅田 記者様

山辺地区自治連より 助成金を頂く

総会協議事項も出席者の満場一致の承認を得られ、議長を務めた会長が議長解任挨拶時、突然「自治連として地区社協に助成することを申し合わせているのでこの場でお渡ししたい」とのサプライズ提言。出席者全員の賛同と感謝の拍手の中で事務局長が拝受した。

当日は地域包括支援センターの協力で簡易自己診断テストの実施や障がい者自立支援施設の紹介パネル展示、山辺さわやか会活動展示も行い、参加者は主催側を含めて120名を超えた。

番組は白米の3つの研究の驚くべき最新の成果を紹介するものだが、以下ポイント部分のみを紹介する。

一、認知症の7割を占めるアルツハイマー病は今や人類最大の敵と言われているが、米国ダイアン研究が6年に亘って三百名の家族性アルツハイマー病患者の方々と解明してきた発症のメカニズムの全貌を公開。何と発症の25年前から原因物質の沈着が始まる、10年遅れて沈着してくる第2物質が海馬の神経細胞を死滅させるというもの。

この結果から、第2物質を分解する薬、第1物質を免疫細胞に攻撃させる薬が開発されそれぞれ臨床試験の段階という。後者は発症後では効果無いが予防薬として期待されている。

平成26年度 山辺地区社会福祉協議会 役員

会長	稲垣柳一郎(自)
副会長	菅 弘武(自) 三田忠良(自)
理事	小堀蒼洋(協) 星野眞之(民)
理事	増田 隆(交) 本橋裕一(育)
理事	今泉備一(老) 今野歌子(体)
事務局長	樋口茂延(監)
常任理事	齋藤修一(協) 齋藤美代(協)
常任理事	齋藤 進(自) 萩原恵美子(民)
常任理事	仁木明子(協) 永倉みさを(監)
常任理事	高瀬雅子(監) 新江義夫(協)
常任理事	柳沢 猛(監) 栗原 収(協)
常任理事	岸 定彦(協)
理事	齋藤省三(自) 齋藤智男(自)
理事	坂本三郎(自) 堺本松枝(自)
理事	青山征史(自) 金子仁一(自)
理事	桜井 博(自) 飯田三郎(自)
理事	岡田 朗(自) 橋本欣也(自)
理事	初谷克栄(自) 石島 力(自)
理事	松本留男(自) 田中榮太郎(自)
理事	金井 弘(自) 古山 高(自)
理事	小暮 保(自) 山鹿辰雄(自)
理事	島田恵子(民) 伊藤眞津江(民)
理事	橋本静江(民) 新井 明(民)
理事	金井幸子(民) 上岡恵子(民)
理事	増田晴美(民) 川島健勇(交)
理事	須永貞子(交) 半田 昇(学)
理事	田部井文弘(育) 松葉みづ子(体)
理事	安達初枝(体) 大関愛子(老)
理事	三宅一江(老) 生澤きくえ(協)
理事	柴崎満子(協) 宮沢秀喜(協)
理事	田島章廣(協) 小林英一(協)
理事	須永 昭(協) 岡村貞敏(協)
理事	樋口茂延 齋藤修一 齋藤美代
理事	高瀬雅子 新江義夫 柳澤 猛
理事	栗原 収 宮澤秀喜 田島章廣
理事	小林英一

が良好という。

二、第1、2物質の沈着があり、軽い物忘れが自覚されてくるのが、発症の5〜10年前。アルツハイマー病の予備軍で、「軽度認知障害(MCI)」と言われる。

日本の国立長寿医療センターで開発した「予防プログラム」は、この軽度認知障害と診断された人の為の発症予防と、更に回復まで期待でき、薬以上の効果を発揮するというもの。

内容は「計算やしりとり等、頭を使いながら運動をする」。

これが第2物質で死滅していく神経細胞があっても新たに神経細胞を再生させ、海馬の萎縮を防ぐという。

三、九州大学疫学調査チームの50年に亘る久山町全住民の調査研究はその規模と正確さで世界的に注目されているが、日本のアルツハイマー病の不気味な兆候を報告している。この20年、医療技術の進歩で他の病は罹患率が低下しているのにアルツハイマー病だけは7倍に増えている。他のデータで同様の傾向を示しているのが糖代謝異常で、高血糖者のリスクは3倍以上になるといふ。

(要旨は公民館に預託済)